

## 令和3年度子ども・子育て支援推進調査研究事業

### <調査研究報告書タイトル>

保育所等における障害児に対する保育内容及び関係機関との連携状況等に関する調査

### <実施主体名>

PwC コンサルティング合同会社

### 【目的】

市区町村の障害児（いわゆる「気になる子」を含む。以下同じ。）保育の実態及び保育所等における障害児に対する保育内容及び関係機関との連携状況等の実態把握を行うことを目的とし実施した。具体的には市区町村及び障害児保育を実施している保育所等に対してアンケート調査及びヒアリング調査を実施した。

### 【概要】

#### ○事業検討委員会の設置（開催回数：5回）

学識者や現場経験者等5名で構成。各種調査の設計、結果の分析・考察を実施。

#### ○アンケート調査

##### ・市区町村

対象：全国の市区町村 1,741 市区町村（悉皆）

調査内容：障害児の受入れ状況、職員の加配基準、関係機関との連携、取組 等

##### ・保育所等

対象：全国の障害児保育を行う保育所等 19,965 施設（悉皆）

調査内容：障害児や気になる子の受入れ状況、支援の質向上のための取組み、市区町村による加配、関係機関との連携、障害児受入れのための取組 等

#### ○ヒアリング調査

##### ・市区町村

対象：障害児保育に積極的に取り組んでいる市区町村 9 市区町村（抽出）

調査内容：障害児の受入れ方針、関係機関との連携、障害児保育の課題と解決 等

##### ・保育所等

対象：障害児保育に積極的に取り組んでいる保育所等 21 保育所等（抽出）

調査内容：障害児の受入れ、工夫、家庭との連携、関係機関との連携、障害児保育の課題と必要な支援 等

### 【結果】

- アンケート調査は 848 市区町村（回収率：48.7%）、9,030 保育所等（回収率：45.2%）から回答が得られた。

- 各調査からは、入所申請時の子どもの状況に関する情報の連携が不十分なケースがあるといった障害児の受入プロセスに関する課題、保育士不足や保育士等の対応能力の向上といった保育所等の受入対体制における課題、そして地域の関係機関とのさらなる連携の必要性に関する課題が浮かび上がった。

- そして、これらの課題の解決に向けた市区町村や保育所等の取組事例も把握することができた。例えば地域の関係機関のネットワークづくりを市区町村が主導して行う事例や、保育の質の向上に向けて保育所独自で多職種連携に取り組む事例等があった。